

プラスチック製容器包装に関する消費者意識調査

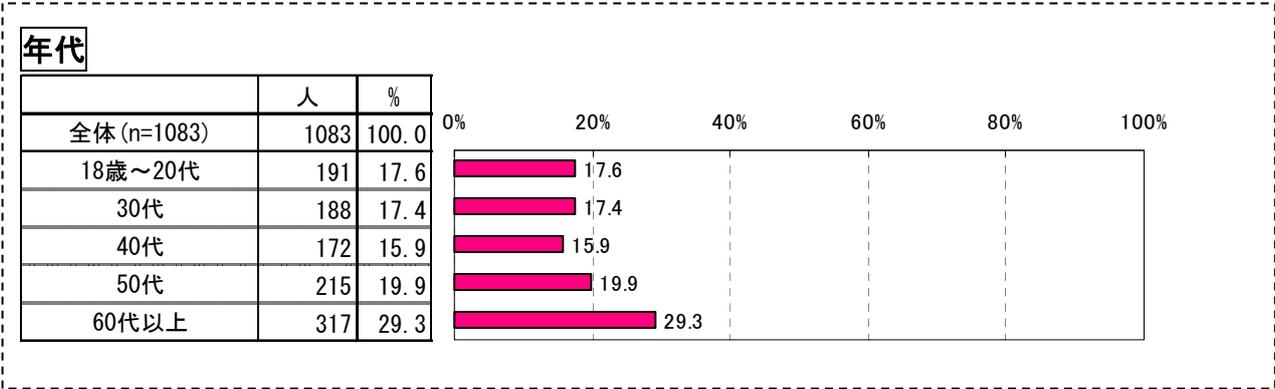
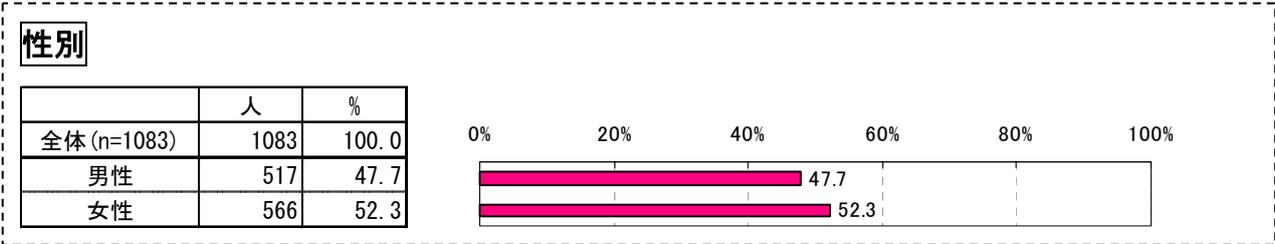
調査結果

1. 調査の概要

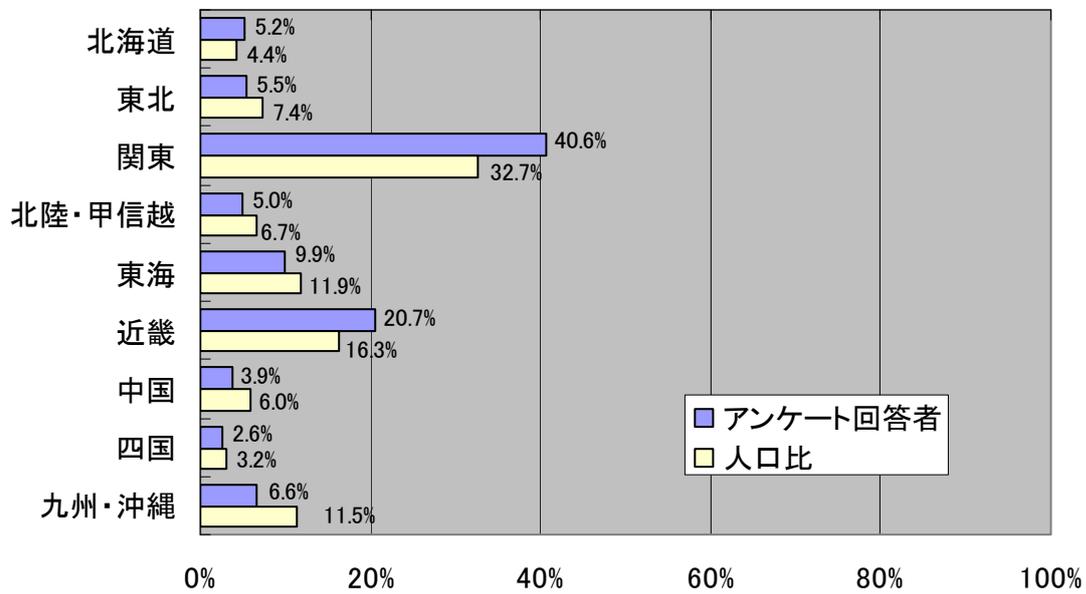
一般消費者のプラスチック製容器包装に対する認知度や再商品化された製品の意識調査のために、インターネットを利用したアンケート調査を実施。

- ◆調査実施期間 : 2009年2月19～24日
- ◆アンケート方法 : インターネット調査
- ◆回答数 : 1083サンプル

2. アンケート回答者の属性



居住地域



東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・甲信越	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

アンケート結果を次ページ以降に示す。また、性別、年代別、プラスチック製容器包装分別実施地域と分別していない地域別、ゴミ有料化地域と有料化していない地域別のクロス集計結果のうち、有意性が見受けられた結果もあわせて示す。

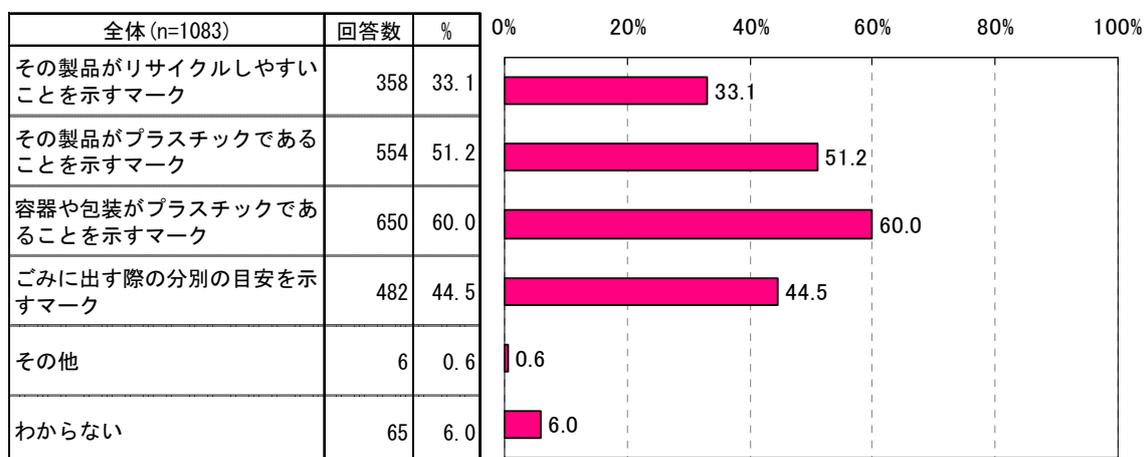
3. アンケート調査結果

(1) 「プラマーク」の認識度について

問) あなたは、次のマークの意味をご存知ですか。



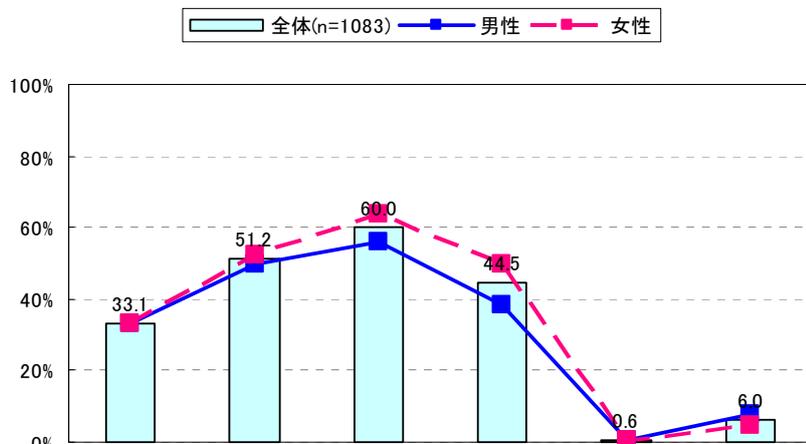
回答 (複数回答)



本設問の正答は、「容器や包装がプラスチックであることを示すマーク」及び「ごみに出す際の分別の目安を示すマーク」である。

回答は、「容器や包装がプラスチックであることを示すマーク」(60%)が最も多く、以下「その製品がプラスチックであることを示すマーク」(51.2%)、「ごみに出す際の分別の目安を示すマーク」(44.5%)の順となっている。

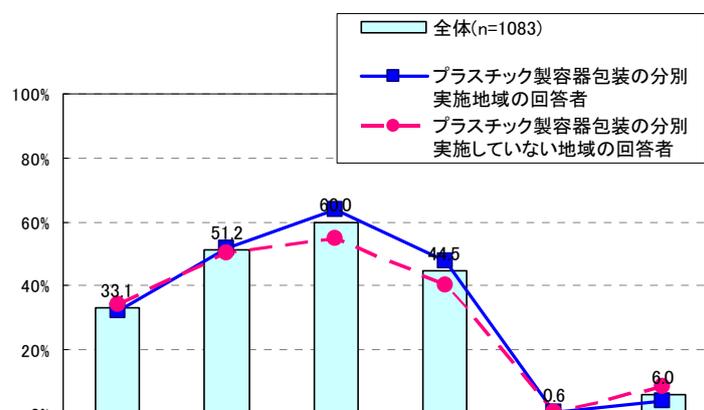
回答（クロス集計：男女別）



		全体	その製品がリサイクルしやすいことを示すマーク	その製品がプラスチックであることを示すマーク	容器や包装がプラスチックであることを示すマーク	ごみに出す際の分別の目安を示すマーク	その他	わからない
全体 (n=1083)	%	100.0	33.1	51.2	60.0	44.5	0.6	6.0
男性	%	100.0	33.1	49.9	55.7	38.5	0.6	7.7
女性	%	100.0	33.0	52.3	64.0	50.0	0.5	4.4

男女別の結果では、女性の方が「容器や包装がプラスチックであることを示すマーク」や「ごみに出す際の分別の目安を示すマーク」を選択している率が高く、プラマークの意味をより正確に理解している結果になった。

回答（クロス集計：プラスチック製容器包装の分別地域の違い）



		全体	その製品がリサイクルしやすいことを示すマーク	その製品がプラスチックであることを示すマーク	容器や包装がプラスチックであることを示すマーク	ごみに出す際の分別の目安を示すマーク	その他	わからない
全体 (n=1083)	%	100.0	33.1	51.2	60.0	44.5	0.6	6.0
プラスチック製容器包装の分別実施地域の回答者	%	100.0	32.1	51.7	63.8	47.8	0.6	4.2
プラスチック製容器包装の分別実施していない地域の回答者	%	100.0	34.3	50.4	55.0	40.1	0.4	8.4

プラスチック製容器包装の分別収集を実施している地域と実施していない地域の回答を比較すると、分別収集実施地域の方が、「容器や包装がプラスチックであることを示すマーク」及び「ごみに出す際の分別の目安を示すマーク」を選択している割合が高い。

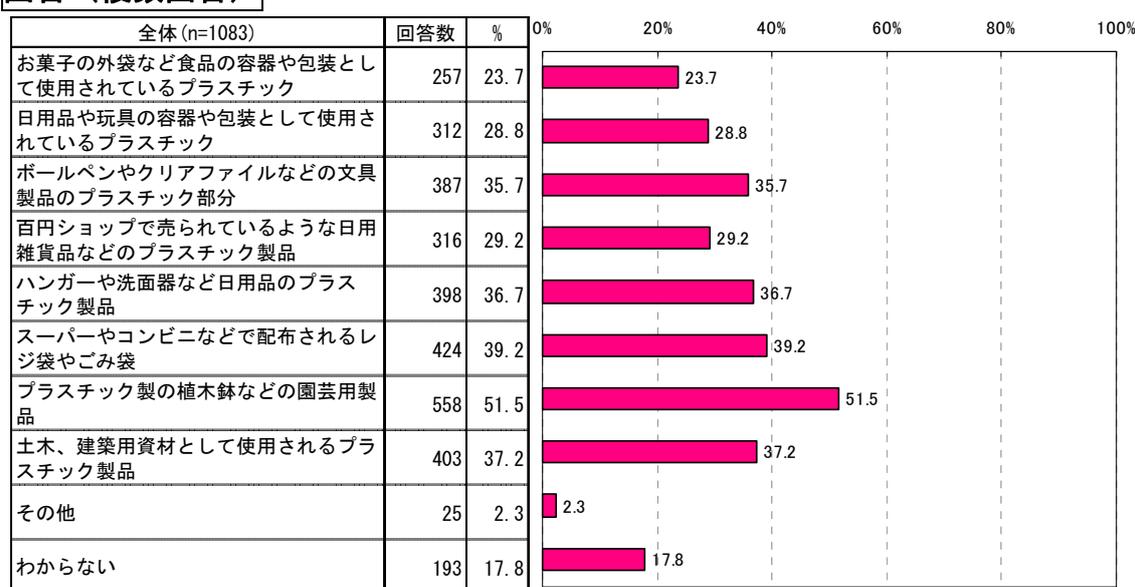
分別収集実施地域においては、自治体から分別の目安としてプラマークについて情報提供を受ける機会が多く、実際に分別を行う機会があることから、マークの意味をより正確に理解していると考えられる。

(2) プラスチック製容器包装のリサイクル製品について

問) 現在、家庭からごみとして出されたプラスチック製容器や包装が、新たなプラスチック製品としてリサイクルされています。あなたは、消費者が分別して廃棄したプラスチックがどのようなものにもリサイクルされていると思いますか。次の中からあてはまるものを選んでください。

※ただし、PET ボトルからリサイクルされたものは除きます。

回答 (複数回答)



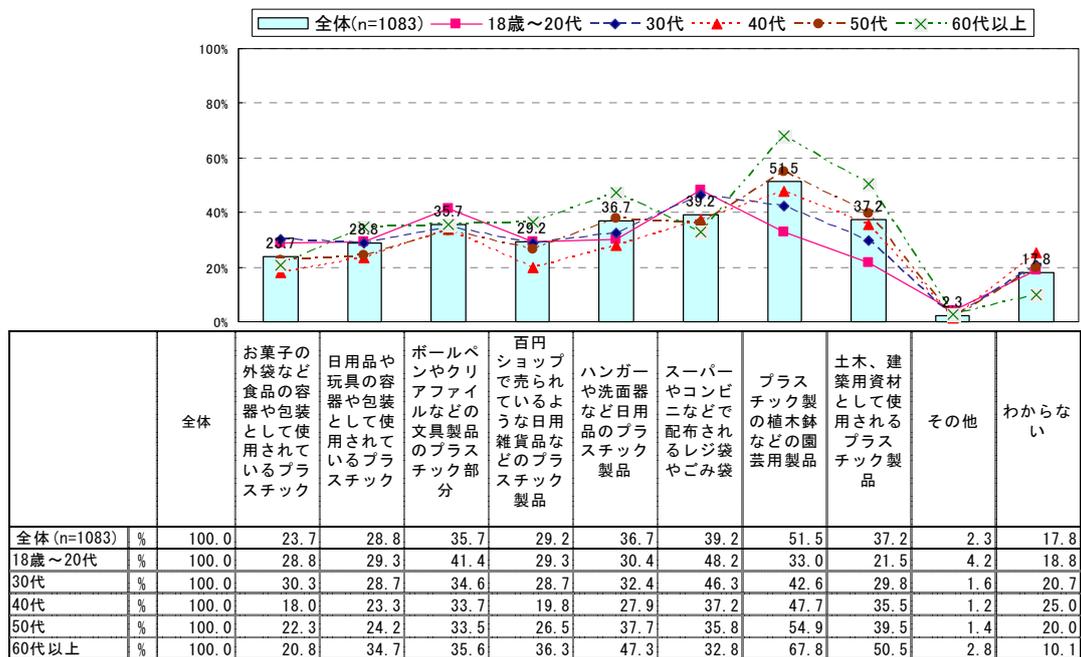
回答 (その他意見)

- ・衣料品類 (フリース、作業服など) にリサイクルされる
- ・その他製品 (公共の場所のベンチなど) にリサイクルされる
- ・リサイクルされずに焼却処分される

回答は「プラスチック製の植木鉢などの園芸用製品」(51.5%)が最も多く、以下「スーパーやコンビニなどで配布されるレジ袋やごみ袋」(39.2%)、「土木、建築用資材として使用されるプラスチック製品」(37.2%)の順となっているが、回答は選択肢全体にばらついている。

回答結果から、レジ袋や日用雑貨品など身近な製品に再商品化されていると考えている回答者が多いことが分かる。また、「ボールペンやクリアファイルなどの文具製品のプラスチック部分」という回答が多いことや自由回答の「衣料品にリサイクルされる」という回答から、PET ボトルのリサイクル製品とプラスチック製容器包装のリサイクル製品の区別がついていないことがうかがえる。さらに「分からない」と回答している人の割合が約 18% であることから、プラスチック製容器包装のリサイクル製品の認知度が高いとは言えないことが明らかになった。

回答（クロス集計：年代別）



年代別では、60代以上の年代が、「プラスチック製の植木鉢などの園芸用品」や「土木、建築用資材として使用されているプラスチック製品」を多く回答している。それに対し、20代、30代の若い年代は、「スーパーやコンビニなどで配布されるレジ袋やごみ袋」にリサイクルされているとの回答が他の年代に比べて多い。また、60代以上の年代では、「わからない」が比較的少ない。

(3) プラスチックのリサイクル製品に対する印象について

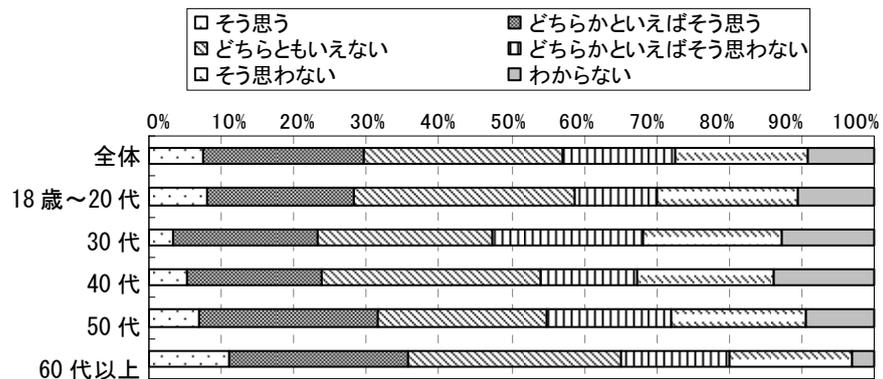
問) プラスチックのリサイクル製品に対するそれぞれの意見について、あなたの考えにもっとも近いものをお選びください。

① 「プラスチックのリサイクル製品は安価である」

回答

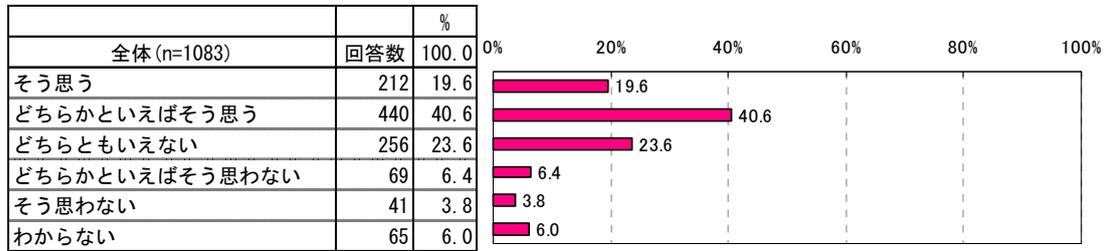


回答 (クロス集計：年代別)

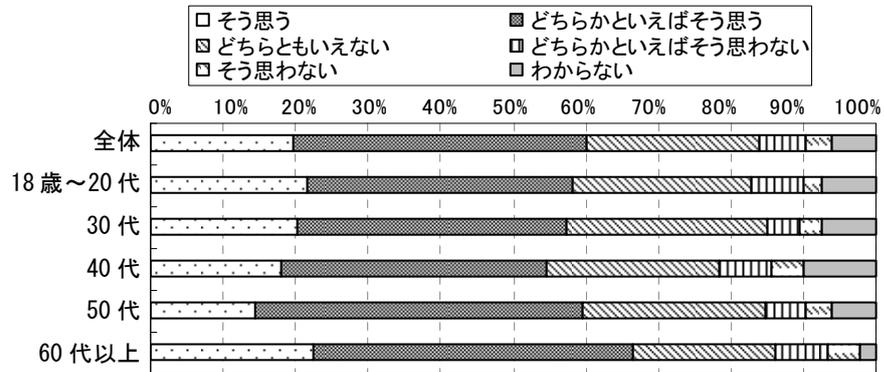


② 「プラスチックのリサイクル製品は品質や見栄えに問題ない」

回答

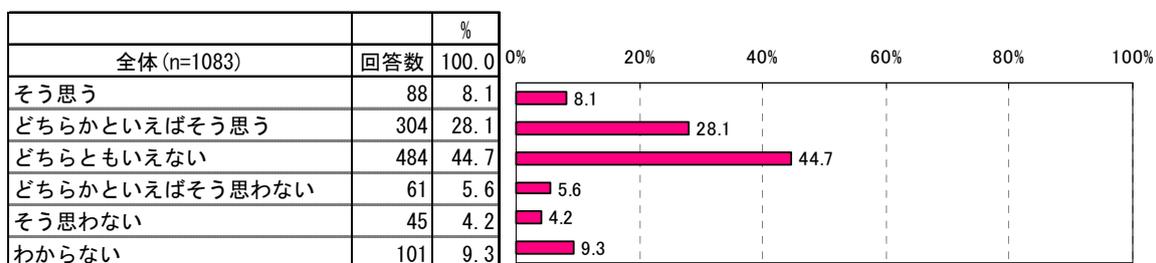


回答（クロス集計：年代別）

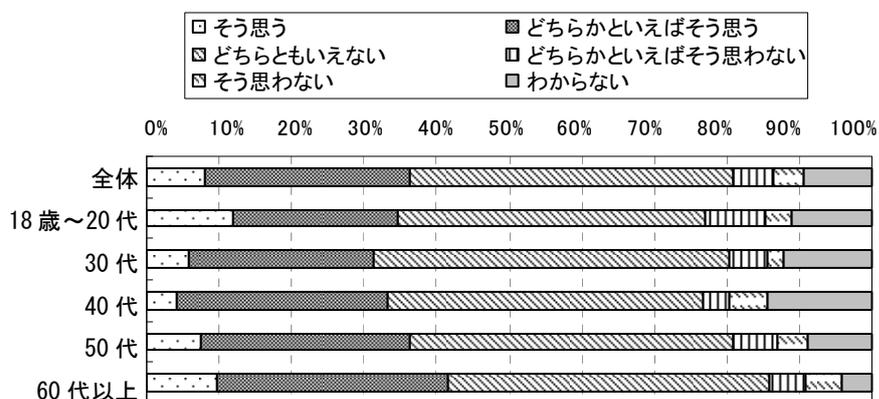


③ 「プラスチックのリサイクル製品は安全である」

回答



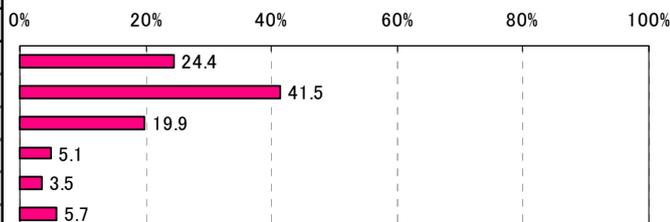
回答（クロス集計：年代別）



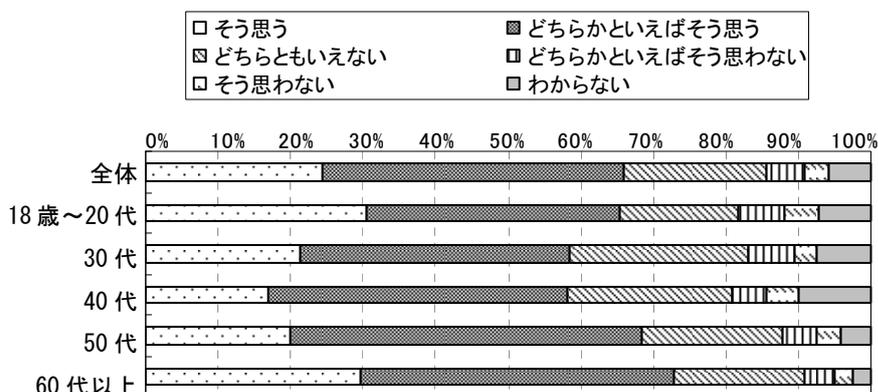
④ 「プラスチックのリサイクル製品は環境に配慮している」

回答

	回答数	%
全体 (n=1083)		100.0
そう思う	264	24.4
どちらかといえばそう思う	449	41.5
どちらともいえない	215	19.9
どちらかといえばそう思わない	55	5.1
そう思わない	38	3.5
わからない	62	5.7



回答（クロス集計：年代別）



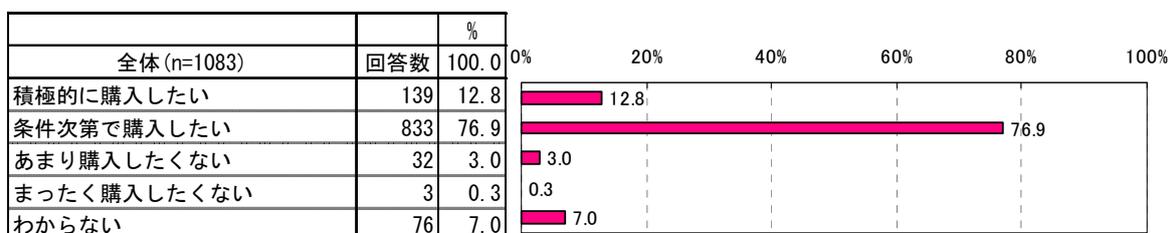
以上の①～④を総括すると、リサイクル製品については、消費者から、リサイクル製品だから安価であると思われるものではなく、また品質についても問題ないという印象を持たれていることが分かる。

年代別では、比較的60代以上の年代がリサイクル製品に対して肯定的な印象を持っている。一方、30代、40代においては、「わからない」が相対的に多いことから、判断に必要な情報が不足しているようである。

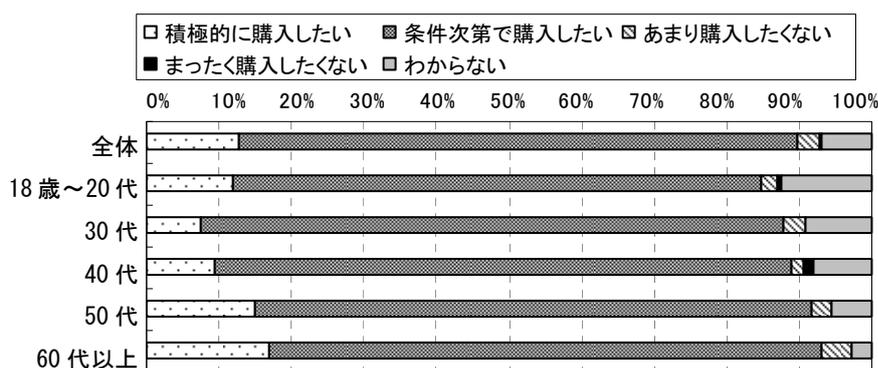
(4) プラスチックのリサイクル製品の購入意思について

問) あなたは、今後、リサイクル製品を購入したいと思いますか。

回答



回答 (クロス集計: 年代別)



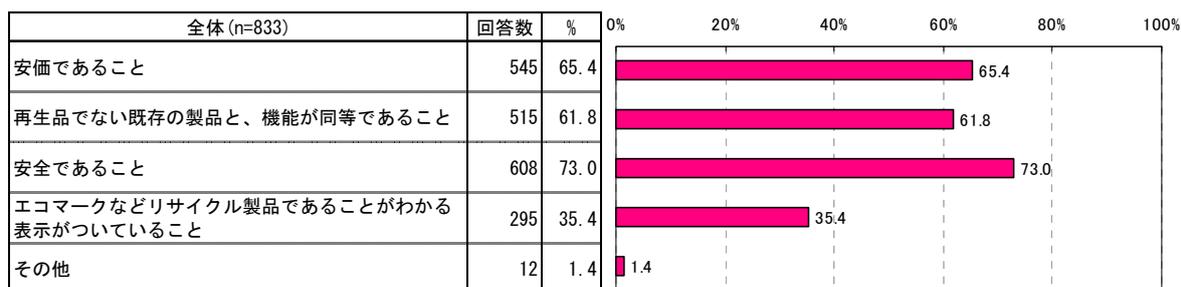
条件次第で購入したいとした回答者が最も多く、「積極的に購入したい」とした回答者を合わせると、89.7%となっている。

年代別の回答では、他の年代に比べて60代以上の回答者の方がリサイクル製品の購入に対して肯定的である。また、年代が若くなるほど「わからない」の割合が多くなっている。

(4) - 1 リサイクル製品を購入する条件
 ※「条件次第で購入したい」とした回答者のみ

問) その主な条件は何ですか。

回答 (複数回答)



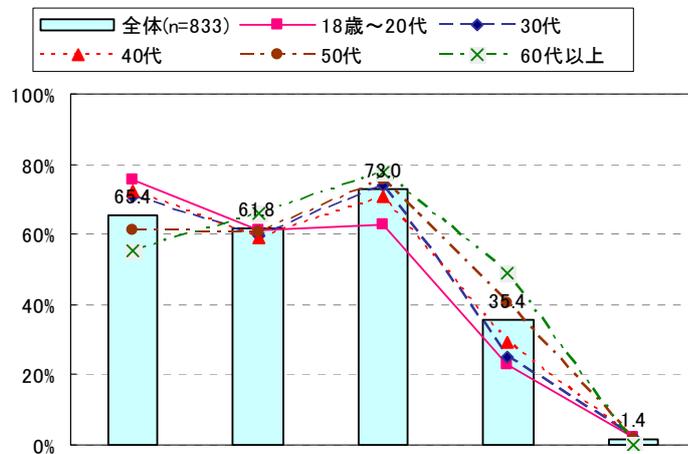
回答 (その他意見)

- ・ リサイクルが環境負荷低減になっていれば購入する
- ・ 必要なものであり機能・デザインが満足すれば購入する など

「安全であること」とした回答者が最も多く、次いで「安価であること」、「再生品でない既存の製品と、機能が同等であること」の順である。「エコマークなどのリサイクル製品であることが分かる表示がついていること」の回答は、他の項目に比べ少ない。

消費者にとっては、製品そのものの品質や機能が既存の製品と同等であり、かつ安価であれば、購入動機につながると考えられる。(3) の回答結果と併せて考えると、リサイクル製品は、消費者から、品質について問題はないという印象を持たれてはいるが、その点が担保される必要があると考えていることがうかがえる。

回答（クロス集計：年代別）



		全体	安価であること	再生品でない既存の製品と、機能が同等であること	安全であること	エコマークなどリサイクル製品であることがわかる表示がついていること	その他
全体 (n=833)	%	100.0	65.4	61.8	73.0	35.4	1.4
18歳~20代	%	100.0	75.5	61.2	62.6	23.0	2.2
30代	%	100.0	70.9	59.6	74.2	25.2	2.0
40代	%	100.0	72.3	59.1	70.8	29.2	2.2
50代	%	100.0	61.2	60.6	75.8	40.6	1.8
60代以上	%	100.0	55.2	66.0	77.6	49.0	0.0

40代以下の年代では、リサイクル製品を購入する条件として「安価であること」の回答が比較的多いが、50代、60代以上になると、「安全であること」、「エコマークなどリサイクル製品であることがわかる表示がついていること」という回答が多い。比較的若い年代は、経済面を重視しているのに対し、50代、60代以上になると、安全性や環境への配慮等価格以外の面を購入時の判断材料としていいると考えられる。

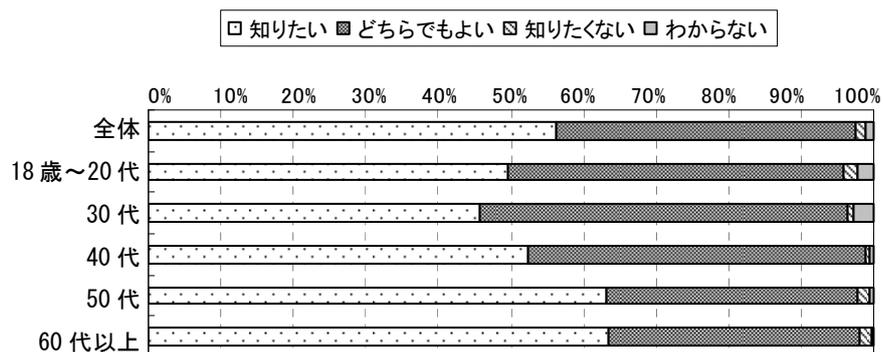
(5) 購入時にリサイクル製品であるかを知りたいか否かについて

問) あなたは自分が購入したいプラスチック製品がリサイクル製品であるかどうか、購入時に知りたいと思いますか。

回答



回答 (クロス集計: 年代別)



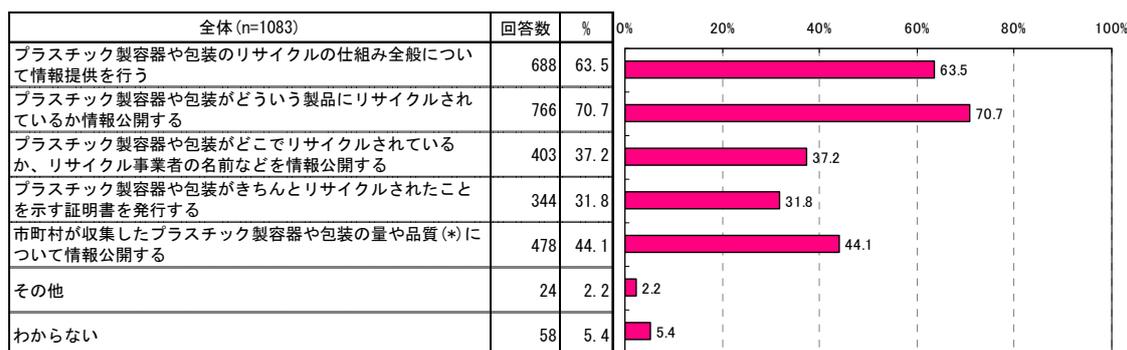
購入時にリサイクル製品かどうか知りたいという意見が 56.1%であった。

年代別では、50代、60代以上の年代で「知りたい」という回答が多い。(4)の回答結果と併せて考えると、これは、50代、60代以上は環境配慮を購入の際の判断材料の一つとして重視しているからであると考えられる。

(6) 情報提供・情報公開が必要な事項について

問) あなたは、プラスチック製容器や包装のリサイクルについて、どのような情報提供、情報公開が必要だと思いますか。

回答 (複数回答)



回答 (その他意見)

- ・ 学校教育等を通じてリサイクルの意義を教育する
- ・ リサイクルに関する情報公開を行う
- ・ リサイクルにかかった費用を公開する など

「プラスチック製容器や包装がどういう製品にリサイクルされているか情報公開する」の回答が最も多く、次いで「プラスチック製容器や包装のリサイクルの仕組み全般について情報提供を行う」という回答であった。

また、「プラスチック製容器や包装がどこでリサイクルされているか、リサイクル事業者の名前などを情報公開する」、「プラスチック製容器や包装がきちんとリサイクルされたことを示す証明書を発行する」という回答が、「プラスチック製容器や包装がどういう製品にリサイクルされているか情報公開する」に比べ半数程度であった。